

# 夜間学校ニュース

1988年 6月 3日  
西成区萩之茶屋2-8-9  
旅路の里気付  
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人・中国人の  
指紋押なつ拒否断固支持！  
定住外国人に市民権を！

毎週金曜日  
夜七時より  
市民館三階

釜ヶ崎夜間学校

みんなで つくろう

みんなの 会館

三人よれば 何とかの 知恵

釜ヶ崎の今は…梅雨

新聞記事とならない多数

アナタは何をする人ぞ

五月の末は釜ヶ崎に関係のある新聞記事が多かった。その中でも、それらの記事が、釜ヶ崎・なかんづく、この夜間学校ニュースを読んでいる仲間に、関係のあるものは認められないということも考えられるが、さて、裏面に転載した記事三つ、どう関係があるのだろうか。

一番大きな記事は、ハ六年に四天王寺境内で、エアガンを使って、野宿を余儀なくさせていた仲間を殺した少年たちが、再び、以前と同様のことをおこなっていったことを知らせるもの。その下に、ちよつとしただけない見出し、愛隣労働者が付けられた記事は、中、高、高校生が、炊き出しの会に毎月米を提供しているというもの。

二の二つは、野宿を余儀なくされている仲間に属するもので、鬻う少年たちもいけば、少しでも何かしたと考えて、毎月米をコツコツ集めてくれている少年たちもいることを伝えていく。一番下には、食場での人間関係がうまくいかずムシヤクシヤして、ゴミ袋に火を付けてしまった仲間の記事がある。

仲間の死  
本籍・住所・氏名不詳、年齢55才の男、身長153センチ、中肉、坊主頭、着衣格子じまのジャンパー、水色トレーナー、黒色セーター、茶色ズボン、本、遺留金1000円、現金520円、腕時計1ヶ右の者は、昭和61年1月1日午後4時ごろ、西成区萩之茶屋1-13萩之茶屋北公園内にて発見されたもので、同日午後8時ごろ（推定）同所において大葉性肺炎にて死亡したものとと思われる。

北斎場にて火葬に付した。

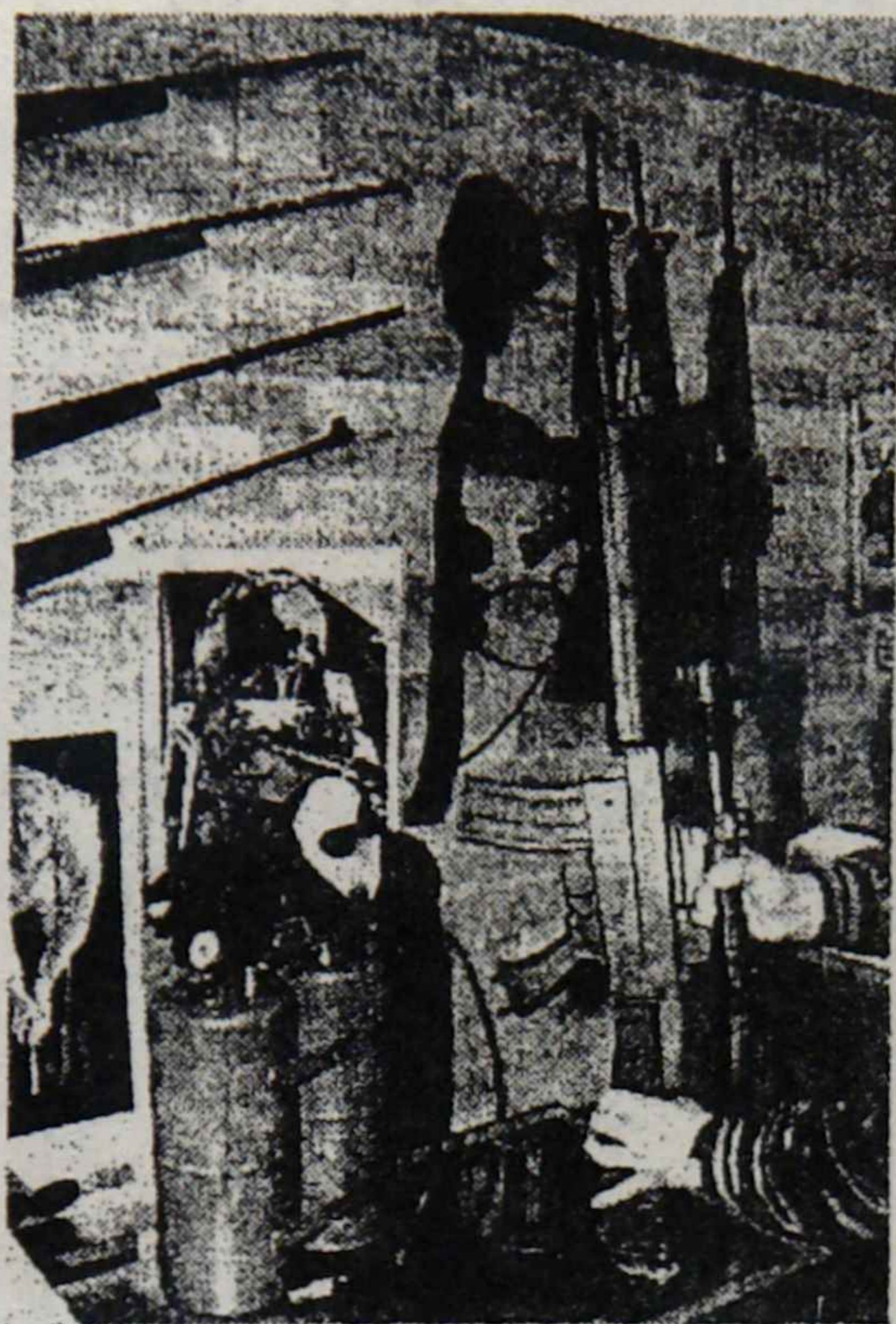
# 人間標的に快感

# エアガン盗み狙撃遊び

## がん具店を軒並み

### 4人逮捕 グループ再編成めざし

大阪市天王寺区の四天王寺境内で六十一日十月、エアガンを使って野宿者を狙撃し、大阪府警に逮捕、捕縛された三人を含むグループが、再び狙撃遊びをするためがん具店などに忍び込んでエアガンなどを多数を盗んでいたことがわかった。浪速区は十九日までに、大阪府下の私立高三年A一八から四人を窃盗容疑で逮捕。少年たちは「一人間を撃つ面白さは一度覚えたらめられない」と供述。山中での戦闘ゲームを繰り返して、中には、自分の父親を標的にして撃っていた者もあり、同輩は再度、野宿者を襲撃してはとて思われるとして追及している。



少年たちが盗んだのと同種のエアガンなど

逮捕されたのは、Aと、グループの十五歳から十八歳までの高校生や専門学校生ら。調べによると、Aらは六十一日十月十三日夜、四天王寺境内で野宿していた無職の年配の男性四人を至近距離からエアガンで狙撃。うち三人に一一二週間のけがをさせた。Aの二人が大阪府警に傷害などの疑いで逮捕され、ともに約半年間、少年院に入り、別の一人も捕縛された。ところがAらは、少年院を出て間もなく、再びサバイバル



エアガンで威力を強めるため改造。グループの再結成を約二十人に呼びかけ、放課後や休日に生駒山中、四天王寺境内などでサバイバルゲームをしていた。中には走行

ルゲームをやろうと武器の調達は開始。今年一月中旬、浪速区内の店から高級エアガン(二丁(二十五万円))を盗み出したほか、昨年夏から今春にかけて、がん具店を狙って三十一丁の盗みを重ね、エアガン、モデルガンなど約五十丁のプラスチック弾、迷彩服、ヘルメットなどを多数を盗んでいた。扇根のスレート板や換気扇をはずして忍び込むなど口並みの手口で、遊ぶ金ほかに現金も盗んでいた。

### 愛隣労働者へ 米の定期便

和歌山の中高校生

和歌山市屋形町、和歌山信愛女子短大付属高校(山本昌子校長、九百二十三人)と同中学校(二百五十七人)の生徒たちが、五年前から毎月一回(西成区・あいりん地区)釜ヶ崎地区の労働者たちに炊き出し用の米を持ち寄って送り続けている。

この「善報の米一握り」運動は、さる五十七年十二月、同校の合同クリスマス会で、同地区の恵まれない労働者たちの救済活動をしている神父の講演を聞いたのがきっかけで、生徒たちが自発的に米を持ち寄った。その後も毎月上旬、両校の福祉委員が呼びかけ、米を運んでいる。毎月、三十一百が持ち込まれ、六十二年度は一年間で約千四百人で、計三百六十人が集まった。米は「釜ヶ崎炊き出しの会」(稲垣浩代表)のメンバーが集めに訪れている。

同会からは、毎月、救済活動の様子を知らせる機関紙が届き、昨秋には、福祉委員らが、同地区を訪れて労働者らと交流。この模様を同校文化祭でパネル写真や資料として展示した。委員らは「今後活動も続けたい」と張り切っている。

現は服の上からだったため、けがはなかった。調べに対し、Aは「動かない物では面白くない。犬や猫は跳び上がったって逃げるだけで刺激が足りない。人間を撃つ時が一番おもしろい」と言っている。

### 放火の作業者逮捕

大正区でボヤ3件

三十一日午前四時半ごろから五時半ごろにかけて、大正区大正三丁目交差点、おもち屋「秋吉商店」(秋吉商店主、ビエラ店「A.V.シティショップヤブウチ」(飯内利昭さん経営)の三店を同時に襲撃して、二丁板やゴミ袋などが相次いで焼け、「ヤブウチ」の燃焼二・五平方メートルをこえた。「ヤブウチ」の火災に絡まってきた十数人の中に不審な男がおり、大正警察が職務質問したところ「ヤブウチのゴミ袋に火をつけた」と自供したため、放火の疑いで逮捕された。調べでは、男は三原山出身、住所不定、未作業者竹本田一(五〇) 竹本は三原山を伝々としており「作業員組合での人間関係からさかしくかかるとヤブウチしていた」といっている。竹本は他の二件については放火を否定している。

しすがたまるのだから、火をつけるというのはいちよつといただけではない話だ。以上、三つを讀んで、青カンセなまかんようになったり、火をつけたりするようなのと一緒され

たら、かなわんな、と思つ仲間もいるかも知れないが、別の人間、人格というのとは明らかであるところも、釜の仲間という意味では一緒だし、世間の人とは確実にその思つ、で、どうなのかというところ

にまかかわらざ、釜の中では、共に何をしようというフレイキが少なすぎるといふこと